

児童発達支援事業所における事業所評価

事業所名
笠間市児童発達支援事業所「まろん」

公表日 令和7年3月28日

回収率 100%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	○		定められた基準を満たしています。
	2	職員の配置数は適切であるか。	○		定められた基準を満たしています。
	3	事業所内は、利用者にわかりやすいように工夫されているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	○		施設内はバリアフリー化しており、児童にとって、活動する場所やトイレなどわかりやすい環境になっています。
	4	事業所内は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		掃除・消毒の徹底を行い、危険箇所がないか確認し、あればその都度対応しています。
	5	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		児童の実態に応じた教具教材を準備して支援を行っています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		定期的にミーティングをし、職員間で情報の共有を図っています。
	7	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○		年に1度保護者等からの評価をいただき、改善に努めています。
	8	事業所職員向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか。	○		保護者等からの評価を職員で共有し、改善に努めています。
	9	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	○		内部研修の実施や外部研修への参加を行い、職員の資質向上に努めています。
適切な支援の提供	10	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、公表しています。
	11	アセスメントを適切に行い、子どもの保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	○		アセスメント、モニタリングの際に保護者のニーズ把握を行い、個別支援計画の作成につなげています。
	12	児童発達支援ガイドラインや保育所等訪問支援ガイドラインに基づき、個別支援計画において、子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援の内容が設定されているか。	○		ガイドラインに基づき、児童の実態に応じた支援を計画しています。
	13	個別支援計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画に沿った支援を行っています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムを職員間で相談し立案しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		常に児童が意欲的に活動できるように考えて、プログラムを組んでいます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか。	○		児童の課題に合わせて、集団活動と個別活動を組み合わせて計画を作成しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○		支援前には職員間で打ち合わせを行い、支援内容や役割分担について確認しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援後には必ず、支援の振り返りを行い、次回の支援につながるよう、情報共有を行っています。共有方法については今後も検討を重ねていきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回支援内容の記録を作成し、次回の支援につながるよう努めています。
	20	定期的にモニタリングを行い、支援内容の見直しや支援の必要性を判断しているか。	○		定期的にモニタリングを行い、必要に応じて、個別支援計画の見直しを行っています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○		必要に応じて、児童の状況をよく知る者（児童発達支援管理責任者）が参画しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	○		必要に応じて、情報交換をしながら支援を行っています。
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		小学校に就学する際、保護者からの希望により支援報告書を保護者と就学先に渡しています。
	24	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	○		専門機関が開催した研修に参加しています。
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		療育中や療育終了後に保護者と話をしながら、児童の発達状況の共通理解に努めています。
	26	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか。	○		ペアレント・トレーニングの講座を開催し、希望する保護者へ支援を行っています。
保護者への説明責任等	27	運営規程・利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明させていただいています。
	28	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から同意を得ているか。	○		個別支援計画は、保護者に支援内容を説明し、内容を確認していただいた上で、ご署名とご捺印をいただいています。
	29	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		随時、話をする機会を設け、保護者の相談に対して、より良い助言と支援ができるように努めています。
	30	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者からの相談があった場合には、すぐに対応を行っています。
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		年に2回会報を発行し、行事予定については随時保護者にお知らせしています。
	32	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		必要に応じて職員がわかりやすく説明をするなどの配慮をしています。
	33	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	○		個人情報の提供については、契約時に保護者の同意を得て、取り扱いには十分に気を付けています。
訪問先施設への説明等	34	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		訪問支援を実施するにあたり、事前に訪問先施設と打ち合わせを行い、事業の趣旨や目的等について説明を行っています。
	35	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		訪問支援実施後に、訪問先の職員と話し合いを行っています。
	36	保育所等訪問支援の実施後に、保護者等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		訪問支援実施後に、保護者と面談を行い、支援の内容等について共有を図っています。
	37	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		訪問先施設からの相談に対して、適切に応じる体制を整え、必要に応じて助言を行っています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを作成し、非常時に対応できるようにしています。
	39	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作、アレルギー等の子どもの状況を確認しているか。	○		初回の面談時に確認を行っています。
	40	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、定期的に避難訓練を実施し、非常時に備えています。
	41	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		職員間で共通理解を図り、虐待防止に努めています。
	42	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に説明し、保護者に同意を得ています。身体拘束を行う児童は現在在籍していません。

